

リレー連載 生ヒストリー温故知新  
第5回 成田邦夫さん（56期）



## 1 役職、就任期間、会長名

幹事長：平成14年7月—18年6月

副会長：平成17年7月—20年6月（平成17年7月—18年6月幹事長兼任）

顧問：平成20年7月—令和2年6月

☆当時の執行部（敬称略）

会長：第14代 石井光春（54期）、副会長：馬場武彦（54期）、宮島光男（55期）、大久保治夫（56期）、寺島知恵子（58期）、編集長：井上剛（61期）、会計長：山邊光一（58期）

## 2 印象に残っている事

- 1) 平成16年の総会に上田高校現役生の室内管弦楽班、女子ダンス班を初めて招聘（招聘費用関東同窓会負担）、演奏会などを行い、関東同窓会員（特に高齢同窓生）に大好評。同時に在籍生活動資金カンパ実施
- 2) 関東同窓会員名簿作成、会計処理システムコンピューター化
- 3) 同窓会報で会員投稿欄を充実、初めてカラー化、会報内容を充実して会員の参加意識を高めた。
- 4) 上田高校（母校）に関東同窓会員を派遣、在校生に様々な職業経験について講演会を毎年定期化、好評を博した。（社会講座）
- 5) 同窓会事務所初設定（馬場武彦さん（54期）所有施設借用）
- 6) 男女共学が進み女性会員の増加に伴い初の女性会長（第15代前田喜美子さん：54期）の選出、女性会員の参加、意識向上に努めた。以後、会長候補者公募化
- 7) 総会以外に会員の講演会、ピアノ、バイオリン、海外アーティスト等の演奏会実施
- 8) 会員有志によるゴルフコンペを定期実施

## 3 苦勞した事

就任時（平成14年）ある古参役員と新規役員との間に同窓会の運営に関して意識（価値観？）に相当な開きがあり、当事者間で直接話し合い、交渉、調整を行い民主化を行った。

## 4 同窓会への想い

役員の仕事は、全くのボランティア仕事であり、いろいろ苦勞があるが、同窓会存続は、欠くべからざるものと思う。大変な仕事だが、頑張っていたきたい。